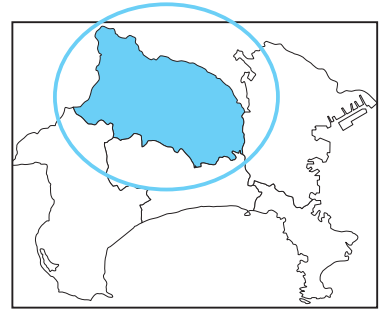


県央地域圏における主な取組み

水源地の豊かな自然を守り、これを活用した地域の魅力づくりと活性化を進めるとともに、こうした自然と都市、産業が調和し、うるおいと活力にあふれた地域づくりに取り組んでいます。



主な取組み

1 広域的な交通ネットワークの形成と環境負荷の少ないまちづくりの推進

交通ネットワーク形成のため、さがみ縦貫道路など自動車専用道路網の整備を促進するとともに、(仮称)綾瀬インターチェンジの環境アセスメント手続きに着手したほか、河原口立体の鉄道高架化などの整備を進めました。

また、相模線複線化の早期実現に向けた調査検討やリニア中央新幹線の早期実現と県内への停車駅設置に向けて、関係機関への要望活動などを行うとともに良好な住環境の保全・創出・形成のため、大和市渋谷南部地区などの土地区画整理事業の促進や県営横山団地建替事業を実施しました。



さがみ縦貫道路・海老名JCT

2 新たな産業集積の促進と地域特性を生かした産業の振興

新技術・新製品開発のため、産学公による共同研究を進めるなど中小企業への技術支援を行いました。

都市周辺地域の特性を生かした農林業の振興のため、愛川町において、茶の生産組織の育成支援を行いました。また、県央家畜保健衛生所(仮称)の再編整備に向け、実施設計並びに新築工事に着手しました。



受託組織による茶の収穫作業・愛川町

文化・観光や地域産業の振興として、水源地域において、地域資源を生かした商品開発に取り組んだほか、都市住民との交流イベントや上下流間交流事業を実施しました。

3 災害に強い安全なまちづくりと地域の安全の確保

災害に強い安全なまちづくりの推進のため、国道412号道志橋において橋りょうの耐震工事を実施し、県道70号などにおいて道路法面の防災工事を実施しました。

基地対策の推進として、神奈川県基地関係県市連絡協議会などで、国に対し要請活動を行いました。

安全なまちづくりの推進のため、綾瀬地区警察活動拠点(仮称)の整備を進めました。



道路法面の防災工事・県道70号

4 水源環境や身近な自然の保全と再生

水環境や丹沢大山の保全・再生のため、水源の森林づくりや、丹沢大山自然再生計画に基づき、自然再生事業を実施しました。また、ニホンザルやヤマビル(*)による被害防除対策を進めました。

身近な自然環境の保全のため、厚木市七沢地区や相模原市城山町小松・城北地区などにおいて、県民との協働による里地里山の保全活動を実施しました。



里地里山の保全活動・七沢地区

* ヤマビル

ミミズやゴカイの仲間(環形動物)で大きさ1.5~5cm程度。雌雄同体で動物の血液を吸って成長・産卵します。

地域圏の課題と今後の対応方向

都市部では、増加する交通量への対応として、効率的に道路整備を進める一方、水源地域においては、手入れ不足の森林の増加など、水源環境の悪化に対応するため住民との協働により、良好な環境を保全・再生していくことが必要です。また、野生鳥獣やヤマビルによる被害を防除する対策を進め、環境と共生した地域形成を図ります。

さらに、企業誘致を促進するとともに米軍基地の騒音対策や大規模地震などの自然災害に備えた対策を着実に進め、安全で快適な生活環境を確保する取組みを進めます。